

ジオテキスタイルを用いた補強土の
設計・施工マニュアル

第二回改訂版

正 誤 表

誤

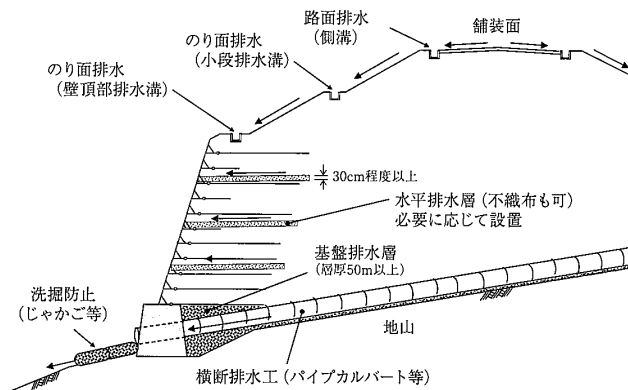
P134 上から 12 行目から 3 行

碎石または砂を用いる場合は、厚さ 30cm 程度以上、排水勾配 4~5% 程度とする。これらの排水層には、周囲の盛土材が流入して目詰まり等を生じないように、境界部に不織布等を配置するものとする。

正

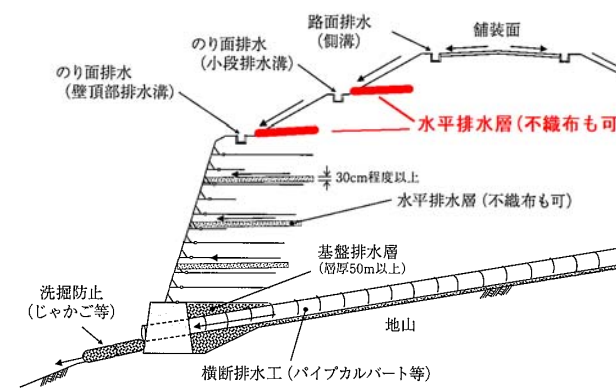
碎石または砂を用いる場合は、①透水係数が $1 \times 10^{-2} \sim 10^{-3}$ 程度以上、かつ盛土材料の透水係数の 100 倍以上良質な材料、②排水勾配が 4~5% 程度、③層厚 30cm 以上、④長さは小段高さの 1/2 以上あれば、排水機能は満足できるものとみなしてよい。また図 5-20 に示すように、不織布等の吸出し防止材を設置することが望ましい。

P303 図 6-64 (b) の変更



(b) 谷部における補強土壁の排水施設の例

図 6-64 補強土壁の排水施設の例



(b) 谷部における補強土壁の排水施設の例

図 6-64 補強土壁の排水施設の例